

ヘルスケア関連企業

## 株価研究

ダイオーズ(4653)

第180回

ダイオーズ(4653)は9月1〜2日にプティックス主宰の、「ケアテックス仙台21」に「ナノシードα(除菌消臭機)」「VBLENTアルマット(抗ウイルスマット靴底用)」など5種類の商品を出展した。ケアテックスは介護用品や介護施設向け設備・サービスに特化した、BtoB商談会。ダイオーズの介護業界との関りは施設内の環境衛生確保を目的とした「入り口マット」や「フ

ロア清掃用モップ」「臭気対策用空気清浄機」などを中心に多岐に亘る。ダイオーズは介護現場での、「お茶・コーヒー」飲料機器なども範疇。利用者(入居者)にとどまらず、スタッフ

に対しての福利厚生の一環としての導入ケースも少なくない。

そしてコロナ禍の現状を注目を集めたのが前記の「ナノシードα」であり、詳細は後述するが「ダイオーズカバーオール」。ナノシードαを広報担当者は「病院や介護

## 除菌清掃システムが好調

施設に多くの導入実績を積んでいる。特許取得済みのこれ1台で、従来品の約10倍のスペース(100畳)をカバーし浮遊・付着ウイルスを不活性化。空間除菌だけでなく消臭効果も高い。レンタルなのでメンテナンスフリーであることも、好評を頂いている。昨今は代理店も関心を高めており、HPからの問い合わせも増えている」とした上で、「今後、除菌・抗菌を意識した商品開発を進めていく」とした。

ダイオーズは創業者の高度な除菌清掃)」。EPA(アメリカ環境保護庁)認可の「高レベル除菌クリーナー」を使用。日常清掃の中で人の手が触れる箇所の高度除菌清掃を行う。国内では同社だけのシステム。

ダイオーズは創業者・大久保真一氏の生家である米穀店が祖業。米穀店を組織化した「配達スパー」などを展開。大久保氏の名を不動にしたのはダスキンNO1の代理店にのし上がった事は知られるところ。2000年にダスキンから独立。オフィス設置型のコーヒ

販売機で新たな地盤を築き、マット・モップ・空気清浄機・加湿器・トイレットリ商品等々にビジネスの幅を広げていった。その線上に「ナノシ

の高度な除菌清掃)」。EPA(アメリカ環境保護庁)認可の「高レベル除菌クリーナー」を使用。日常清掃の中で人の手が触れる箇所の高度除菌清掃を行う。国内では同社だけのシステム。

ダイオーズは創業者・大久保真一氏の生家である米穀店が祖業。米穀店を組織化した「配達スパー」などを展開。大久保氏の名を不動にしたのはダスキンNO1の代理店にのし上がった事は知られるところ。2000年にダスキンから独立。オフィス設置型のコーヒ

販売機で新たな地盤を築き、マット・モップ・空気清浄機・加湿器・トイレットリ商品等々にビジネスの幅を広げていった。その線上に「ナノシ



経済評論家 千葉 明

▲筆者プロフィール▼  
1949年生まれ。明治大学経済学部卒。「プレジデント」「ネットマネー」等の雑誌を中心に活躍中。「野村証券・企業部」「ザ・ノンバンク」など著書多数。

時価1000円出入り水準。予想税引き後配当利回り1・2%余り。好配当を背もたれに、中朝構えが賢明か。